



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 東  
 コード番号 2124 URL <http://corp.jac-recruitment.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松園 健  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 管理本部長 (氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	7,778	16.0	2,644	11.4	2,646	11.4	1,876	19.2
28年12月期第2四半期	6,703	26.0	2,374	45.5	2,376	45.5	1,574	54.8

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 1,876百万円(19.2%) 28年12月期第2四半期 1,574百万円(54.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	46.41	46.37
28年12月期第2四半期	39.02	—

(注) 28年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	12,717	10,062	78.9
28年12月期	12,337	9,283	75.2

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 10,036百万円 28年12月期 9,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	16,409	18.6	5,032	6.5	5,033	6.4	3,544	8.4	87.60	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	41,292,000株	28年12月期	41,292,000株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	802,764株	28年12月期	944,240株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	40,424,210株	28年12月期2Q	40,347,774株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式付与E S O P信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成29年8月24日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループのセグメント区分は、経営単位である拠点・会社別に記載しております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済において、企業の求人意欲は依然衰えず、5月の有効求人倍率は1.49倍と43年ぶりの高水準に達しました。このような環境の下、当社グループの人材紹介事業は、各企業が新卒の採用活動を早期化した影響で中途採用に一時的な停滞がみられたものの、ターゲットとしている中高額帯と専門性の高い求人への取り組みを定着させることにより、売上高は、ほぼ期初の計画に沿う結果となりました。

当年度の当社グループは、「Grow and Expand (成長と拡大)」を経営テーマとして掲げ、中長期的な事業展開も視野に入れて、将来を見込める優秀な人材の採用強化とその教育に必要な投資の拡充に取り組んでおります。特に、前年度に人員確保の予定値を下回った点は重く受け止め、当年度はその不足分を取り戻すため、採用部門の強化、募集施策の充実等を図っております。

有効求人倍率の歴史的な高まりを受け、企業の人材需要は多様化しております。その中で当社グループは、得意領域である高額帯、専門性の高い分野でシェア拡大を図ることにより、業績の向上を目指す所存であります。

経費については、期初の予算内で推移しており、当年度は前年度以上に安定した財務基盤を形成し、さらなる株主還元を可能とする態勢を整えてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,778百万円(前年同期比16.0%増)となりました。セグメント別売上高は、東京本社が4,774百万円(同17.4%増)、横浜支店が388百万円(同0.6%増)、名古屋支店が392百万円(同1.5%減)、静岡支店が78百万円、大阪支店が1,375百万円(同11.6%増)、京都支店が182百万円(同47.4%増)、神戸支店が185百万円(同28.5%増)、中国支店が46百万円、JAC Internationalが191百万円(同5.9%減)、シー・シー・コンサルティングが163百万円(同9.2%増)となっております。

利益面では、営業利益は2,644百万円(前年同期比11.4%増)、経常利益は2,646百万円(同11.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,876百万円(同19.2%増)となりました。セグメント別損益は、東京本社が1,750百万円(同20.6%増)、横浜支店が119百万円(同17.8%減)、名古屋支店が132百万円(同3.7%減)、静岡支店が26百万円、大阪支店が461百万円(同9.2%減)、京都支店が50百万円(同174.7%増)、神戸支店が67百万円(同28.1%増)、中国支店が5百万円、JAC Internationalが42百万円(同33.1%減)、シー・シー・コンサルティングが△9百万円(前年同期は△0百万円)となっております。

なお、前第3四半期連結累計期間の静岡支店の開設に伴い「静岡支店」を、当第1四半期連結累計期間の中国支店の開設に伴い「中国支店」を、報告セグメントに追加しております。このため、「静岡支店」及び「中国支店」の前年同期比については記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
東京本社	4,774	117.4
横浜支店	388	100.6
名古屋支店	392	98.5
静岡支店	78	—
大阪支店	1,375	111.6
京都支店	182	147.4
神戸支店	185	128.5
中国支店	46	—
JAC International	191	94.1
シー・シー・コンサルティング	163	109.2
合 計	7,778	116.0

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3. 前第3四半期連結累計期間の静岡支店の開設に伴い「静岡支店」を、当第1四半期連結累計期間の中国支店の開設に伴い「中国支店」を、報告セグメントに追加しております。このため、「静岡支店」及び「中国支店」の前年同期比については記載しておりません。

なお、事業別・業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

事業・業界部門	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
1. 人材紹介事業		
電気・機械・化学業界	2,880	115.6
消費財・サービス業界	1,998	124.5
メディカル・医療業界	1,242	107.5
I T・通信業界	895	126.5
金融業界	596	103.9
その他	1	7.7
人材紹介事業 計	7,615	116.2
2. 求人広告事業		
求人広告事業 計	163	109.2
合 計	7,778	116.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売掛金129百万円増加、ソフトウェア仮勘定105百万円増加、現金及び預金92百万円増加等により、前連結会計年度末に比べて379百万円増加の12,717百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等173百万円減少、未払消費税等133百万円減少、未払金83百万円減少等により、前連結会計年度末に比べて398百万円減少の2,654百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益1,876百万円、剰余金の配当1,238百万円、自己株式の減少123百万円等により、前連結会計年度末に比べ778百万円増加の10,062百万円となり、自己資本比率は78.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年1月31日開示の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,118	10,210
売掛金	750	880
貯蔵品	1	1
前払費用	101	119
繰延税金資産	441	398
その他	2	6
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	11,415	11,614
固定資産		
有形固定資産		
建物	233	258
減価償却累計額	△127	△134
建物(純額)	105	124
機械及び装置	9	9
減価償却累計額	△1	△2
機械及び装置(純額)	7	6
工具、器具及び備品	214	219
減価償却累計額	△152	△161
工具、器具及び備品(純額)	61	58
リース資産	6	6
減価償却累計額	△1	△2
リース資産(純額)	4	3
建設仮勘定	0	—
有形固定資産合計	179	192
無形固定資産		
のれん	126	118
商標権	0	0
ソフトウェア	34	48
ソフトウェア仮勘定	93	198
無形固定資産合計	255	366
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	0	0
敷金及び保証金	425	469
破産更生債権等	—	3
長期前払費用	0	0
繰延税金資産	61	74
長期未収入金	9	11
貸倒引当金	△9	△15
投資その他の資産合計	487	544
固定資産合計	922	1,103
資産合計	12,337	12,717

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
リース債務	1	1
未払金	313	229
未払費用	1,134	1,113
未払法人税等	962	789
未払消費税等	339	206
預り金	72	87
前受収益	64	91
賞与引当金	—	20
役員賞与引当金	—	2
株式給付引当金	124	78
解約調整引当金	36	32
流動負債合計	3,050	2,651
固定負債		
リース債務	3	2
固定負債合計	3	2
負債合計	3,053	2,654
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	619	619
資本剰余金	1,569	1,569
利益剰余金	7,911	8,549
自己株式	△825	△702
株主資本合計	9,275	10,036
新株予約権	8	26
純資産合計	9,283	10,062
負債純資産合計	12,337	12,717



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,703	7,778
売上原価	261	373
売上総利益	6,441	7,404
販売費及び一般管理費		
役員報酬	159	179
給料及び手当	2,348	2,700
法定福利費	327	390
株式報酬費用	—	17
退職給付費用	51	69
賞与引当金繰入額	—	20
役員賞与引当金繰入額	—	2
株式給付引当金繰入額	63	77
貸倒引当金繰入額	—	7
地代家賃	321	347
減価償却費	33	38
のれん償却額	7	7
広告宣伝費	279	295
その他	474	607
販売費及び一般管理費合計	4,067	4,760
営業利益	2,374	2,644
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	0
設備賃貸料	1	1
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	0	0
営業外収益合計	3	2
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	—
貸倒損失	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	2,376	2,646
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,376	2,646
法人税、住民税及び事業税	811	739
法人税等調整額	△9	30
法人税等合計	802	770
四半期純利益	1,574	1,876
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,574	1,876

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,574	1,876
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	1,574	1,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,574	1,876
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント										報告セグメント計	調整額	合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	静岡支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	中国支店	JAC International	シー・シー・コンサルティング			
売上高													
外部顧客への売上高	4,065	386	398	—	1,232	123	144	—	203	149	6,703	—	6,703
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	8	△8	—
計	4,065	386	398	—	1,232	123	144	—	203	157	6,711	△8	6,703
セグメント利益又は損失(△)	1,451	145	137	—	508	18	52	—	63	△0	2,376	—	2,376

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. シー・シー・コンサルティングの報告セグメントには、のれん償却額7百万円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント										報告セグメント計	調整額	合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	静岡支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	中国支店	JAC International	シー・シー・コンサルティング			
売上高													
外部顧客への売上高	4,774	388	392	78	1,375	182	185	46	191	163	7,778	—	7,778
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7	△7	—
計	4,774	388	392	78	1,375	182	185	46	191	170	7,785	△7	7,778
セグメント利益又は損失(△)	1,750	119	132	26	461	50	67	5	42	△9	2,646	—	2,646

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. シー・シー・コンサルティングの報告セグメントには、のれん償却額7百万円が含まれております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結累計期間の静岡支店の開設に伴い「静岡支店」を、当第1四半期連結累計期間の中国支店の開設に伴い「中国支店」を、報告セグメントに追加しております。